

2011年3月期 第3四半期決算説明会

2011年2月9日(水)
日本ハム株式会社

目 次

1. 2011年3月期 第3四半期連結業績の総括
2. 2011年3月期 第4四半期以降の見通し
3. 2011年3月期 第3四半期財務データ

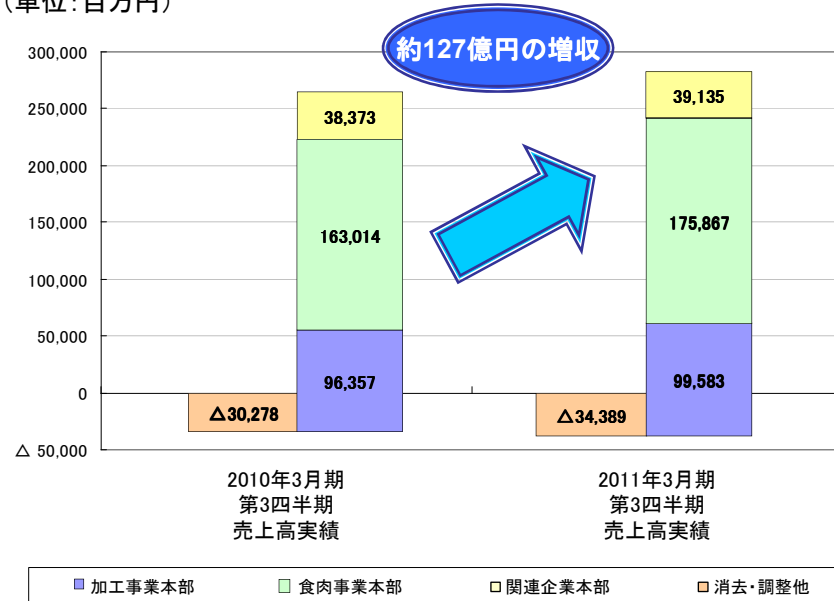
2011年3月期 第3四半期連結業績の総括

- 1.オペレーティング・セグメント情報 第3四半期
- 2.オペレーティング・セグメント情報 第3四半期累計
- 3.営業利益第3四半期累計実績 前年差要因分析
4. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
6. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
7. 海外 所在地別業績状況

◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期 第3四半期(10月～12月)】

【売上高】

(単位:百万円)

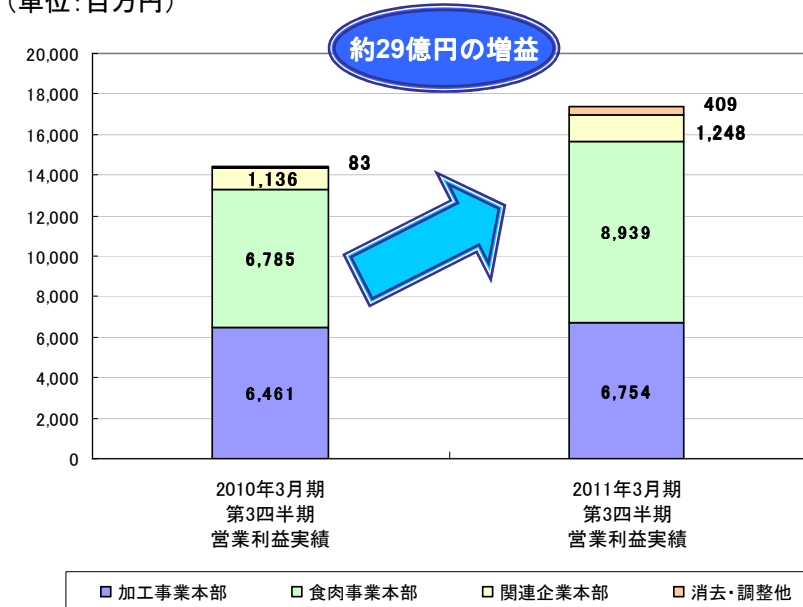


(単位:百万円・%)

10月～12月 実績	2010年3月期 第3四半期 売上高実績	2011年3月期 第3四半期 売上高実績	前年比	前年差
加工事業本部	96,357	99,583	3.3	3,226
食肉事業本部	163,014	175,867	7.9	12,853
関連企業本部	38,373	39,135	2.0	762
消去・調整他	△ 30,278	△ 34,389	-	△ 4,111
連結合計	267,466	280,196	4.8	12,730

【営業利益】

(単位:百万円)



(単位:百万円・%)

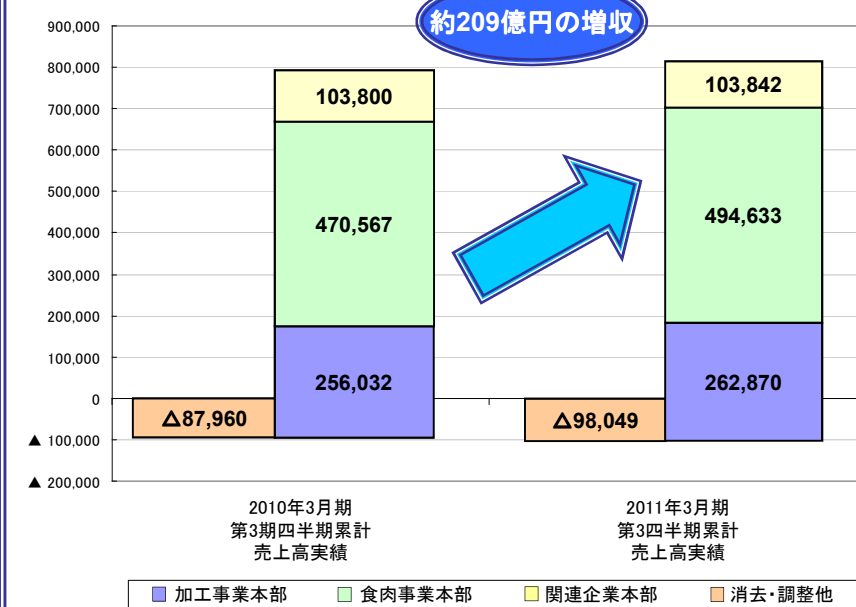
10月～12月 実績	2010年3月期 第3四半期 営業利益実績	2011年3月期 第3四半期 営業利益実績	前年比	前年差
加工事業本部	6,461	6,754	4.5	293
食肉事業本部	6,785	8,939	31.7	2,154
関連企業本部	1,136	1,248	9.9	112
消去・調整他	83	409	-	326
連結合計	14,465	17,350	19.9	2,885

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期 第3四半期累計(4月～12月)】

【売上高】

(単位:百万円)

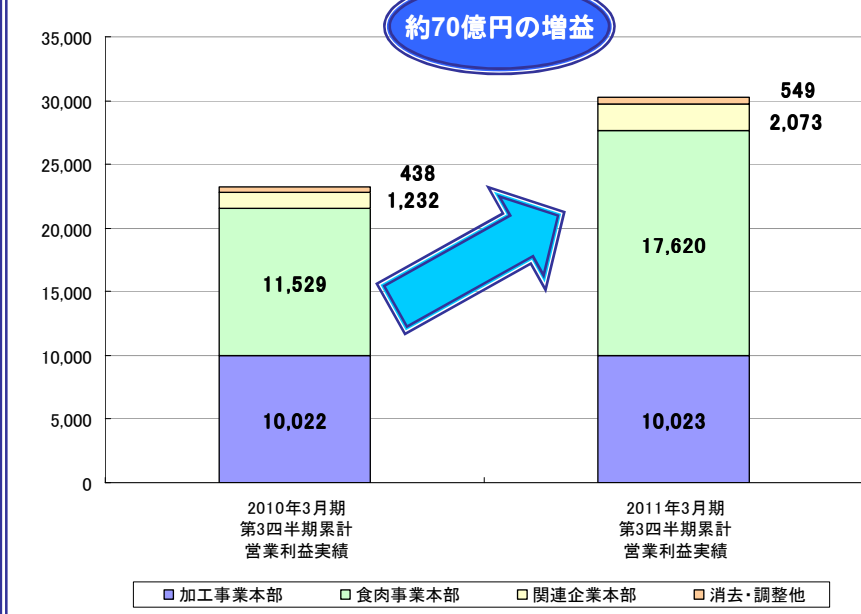


(単位:百万円・%)

4月～12月 累計実績	2010年3月期 第3四半期累計 売上高実績	2011年3月期 第3四半期累計 売上高実績	前年比	前年差
加工事業本部	256,032	262,870	2.7	6,838
食肉事業本部	470,567	494,633	5.1	24,066
関連企業本部	103,800	103,842	0.0	42
消去・調整他	△87,960	△98,049	-	△10,089
連結合計	742,439	763,296	2.8	20,857

【営業利益】

(単位:百万円)



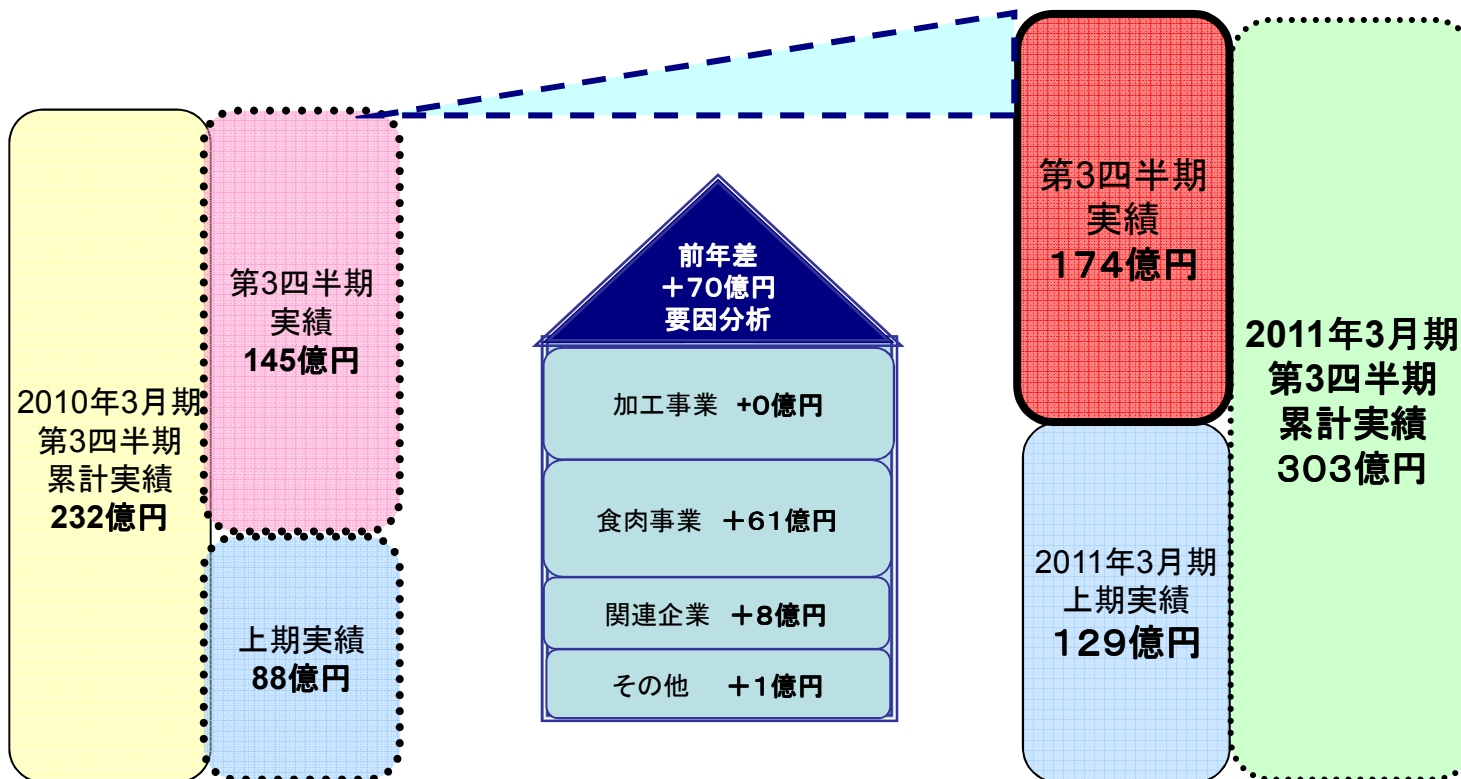
(単位:百万円・%)

4月～12月 累計実績	2010年3月期 第3四半期累計 営業利益実績	2011年3月期 第3四半期累計 営業利益実績	前年比	前年差
加工事業本部	10,022	10,023	0.0	1
食肉事業本部	11,529	17,620	52.8	6,091
関連企業本部	1,232	2,073	68.3	841
消去・調整他	438	549	-	111
連結合計	23,221	30,265	30.3	7,044

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.17の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。— 4 —

第3四半期営業利益 要因分析



2010年3月期第3四半期実績

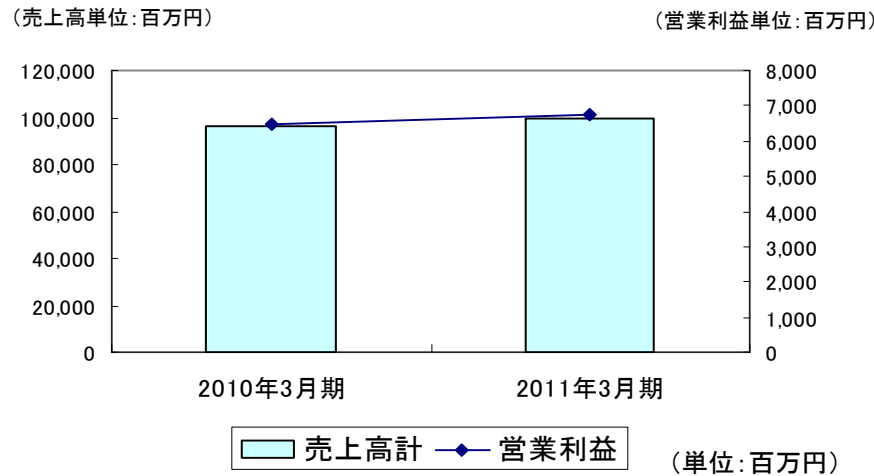
2011年3月期第3四半期実績

	上期累計実績	第3四半期 実績	第3四半期 累計実績
2010年3月期実績	88億円	145億円	232億円
2011年3月期実績	129億円	174億円	303億円
対前年差	+41億円	+29億円	+70億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

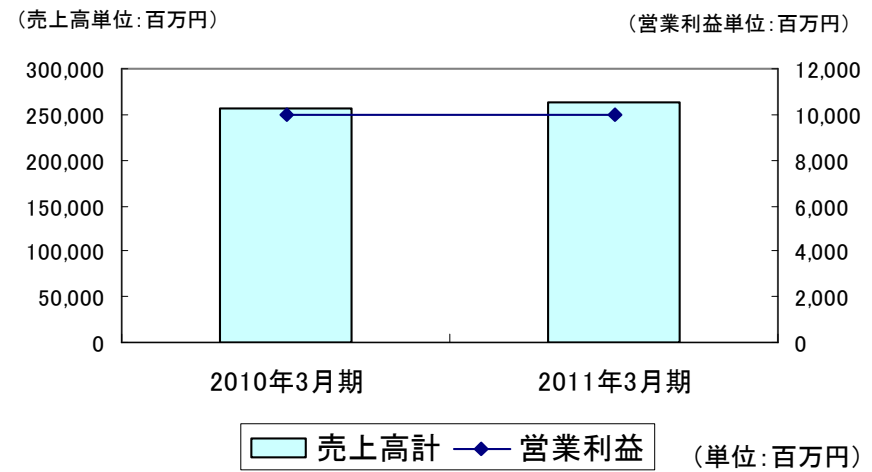
【加工事業本部】

【第3四半期実績】



10月～12月実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	96,357	99,583
営業利益	6,461	6,754
営業利益率	6.7%	6.8%

【第3四半期累計実績】



4月～12月累計実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	256,032	262,870
営業利益	10,022	10,023
営業利益率	3.9%	3.8%

【第3四半期の状況】

- ・売上高は、主にギフトの伸長と、業務用商品の販売数量増により、対前年同期比約3.3%の増収。
- ・営業利益は、ギフトを含めた売上数量増と、SCMの効果等により、対前年同期差約3億円の増益。

【第3四半期累計の状況】

- ・売上高は、ハム・ソーセージ、加工食品ともに販売数量が伸長したことにより、対前年同期比約2.7%の増収。
- ・営業利益は、販売数量の増加と、コスト削減およびSCMの効果等により、上期までの減益を吸収。前年並みの利益を確保。

【加工事業本部 営業利益増減要因イメージ】

●2011年3月期の利益増減イメージ

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒第3四半期累計で、対前年同期差約9億円のプラス要因。

【加工事業本部トータルでの増減額】

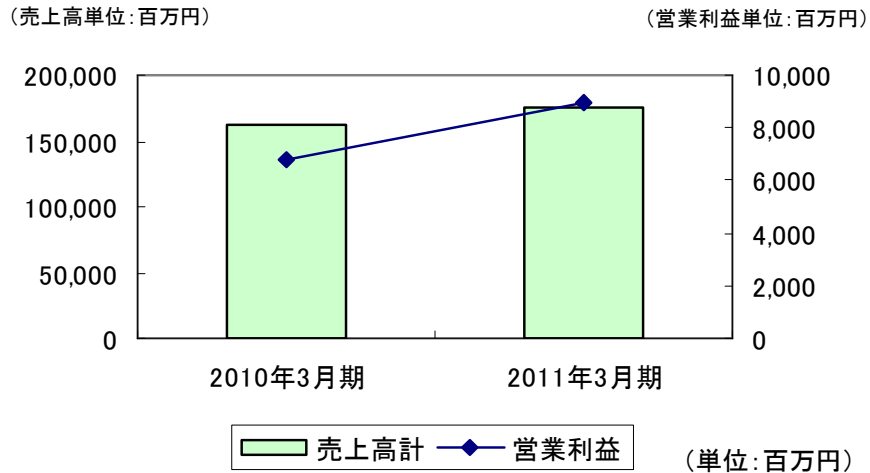
⇒上期の減益を第3四半期の伸びで補い、第3四半期累計では前年並みの利益を確保。

【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

	2011年3月期 第3四半期 累計実績
主原料・副資材価格要因合計	9億円
(内訳)主原料価格縮小額	8億円
(内訳)資材価格・物流費等縮小額	1億円
コストダウン要因合計	24億円
製造・営業部門等の改善活動効果額	16億円
売上数量増による効果額	8億円
コストアップ要因合計	△33億円
販促費用・品種構成等	△23億円
SCM費用効果額	△5億円
その他	△5億円
合計	+0億円

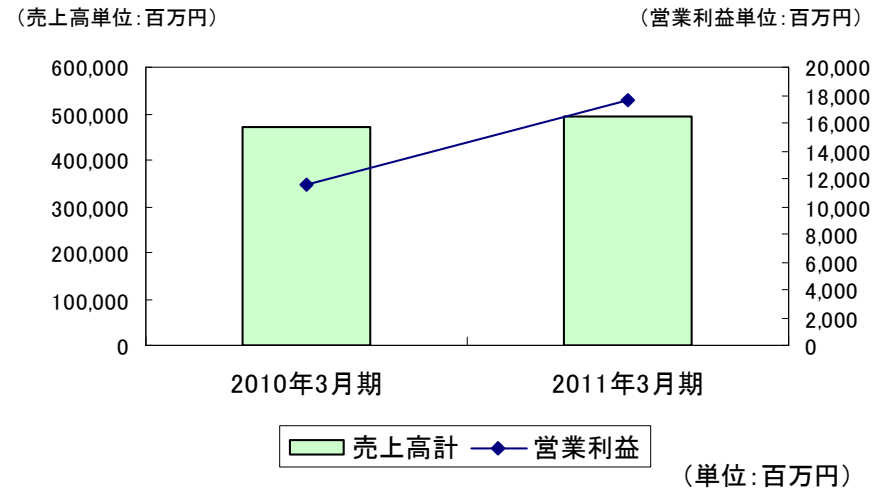
【食肉事業本部】

【第3四半期実績】



10月～12月実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	163,014	175,867
営業利益	6,785	8,939
営業利益率	4.2%	5.1%

【第3四半期累計実績】



4月～12月累計実績	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	470,567	494,633
営業利益	11,529	17,620
営業利益率	2.5%	3.6%

【第3四半期の状況】

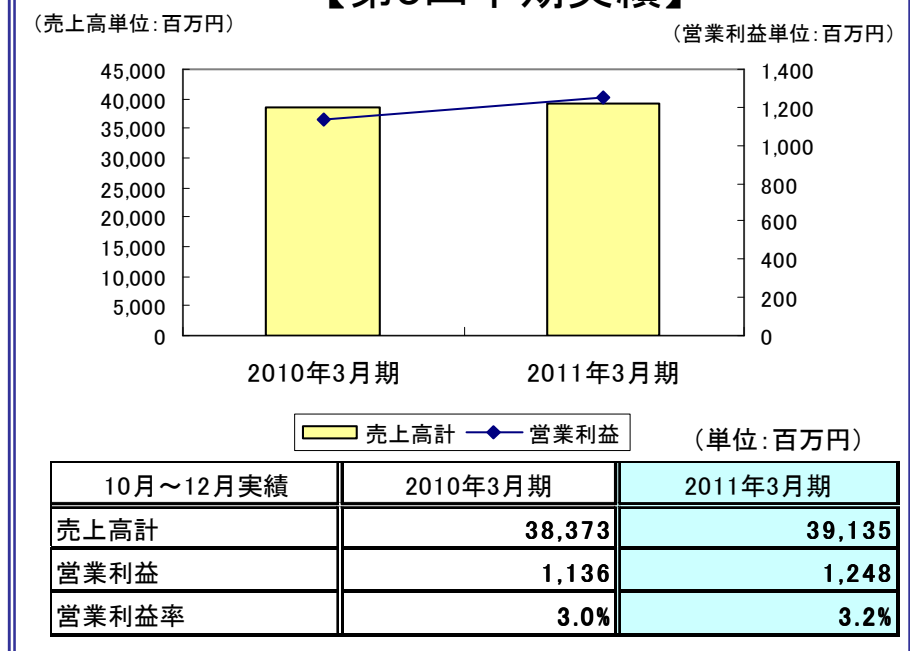
- ・売上高は、販売数量の増加と、国内における食肉相場の回復等により、約7.9%の増収。
- ・営業利益は、国内川上事業の回復と、食肉相場の回復、販売数量増等により、約22億円の大幅増益。

【第3四半期累計の状況】

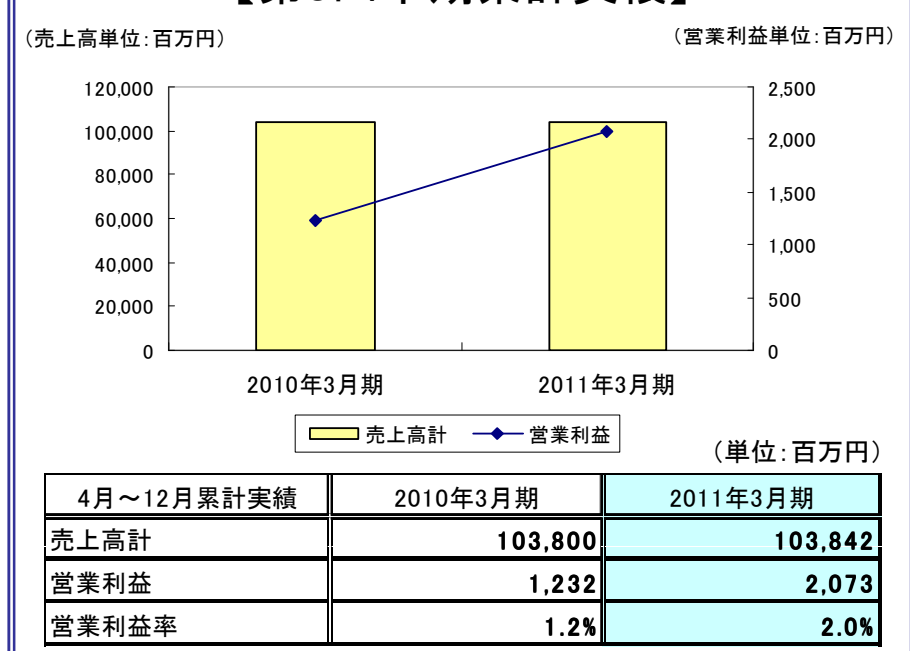
- ・売上高は、国内、海外ともに販売数量の増加等により、約5.1%の増収。
- ・営業利益は、国内川上事業の回復と、輸入食肉の収益改善等により、約61億円の増益。

【関連企業本部】

【第3四半期実績】



【第3四半期累計実績】



【第3四半期の状況】

- ・売上高は、特にチーズを、主要チャネルである製パンメーカーや食品メーカーを中心に拡販したことにより、対前年同期比2.0%の増収。
- ・営業利益は、年末商戦において、大型水産商材の販売が好調だったことに加え、チーズ製品の販売数量増や原料価格の安定による利益率の改善等により、対前年同期差約1億円の増益。

《参考～主な関連会社の状況～》

	状況
マリンフーズ	売上高、利益とも前年を上回った。
宝幸	売上高、利益とも前年を上回った。
日本ルナ	売上高は前年を上回ったが、減益となった。

【第3四半期累計の状況】

- ・売上高は、第1四半期の落ち込みを第2四半期以降の増収でカバーし、累計では前年並みまで回復。
- ・営業利益は、中間期以降も順調に伸長し、累計では対前年同期差約8億円の増益。

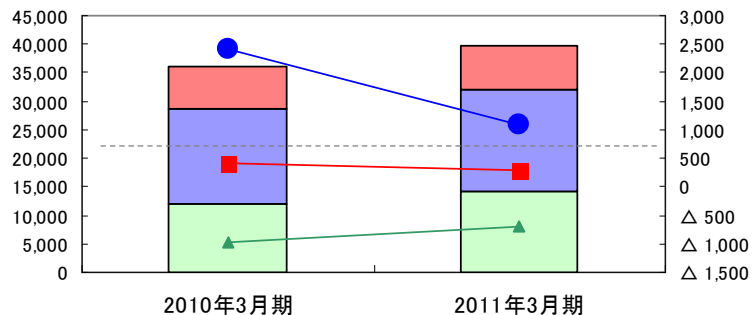
《参考～主な関連会社の状況～》

	状況
マリンフーズ	売上高はほぼ前年並みだが、増益となった。
宝幸	売上高はほぼ前年並みだが、増益となった。
日本ルナ	売上高、利益ともに前年を下回った。

【海外事業】

【第3四半期実績】

(売上高単位:百万円) (営業利益単位:百万円)



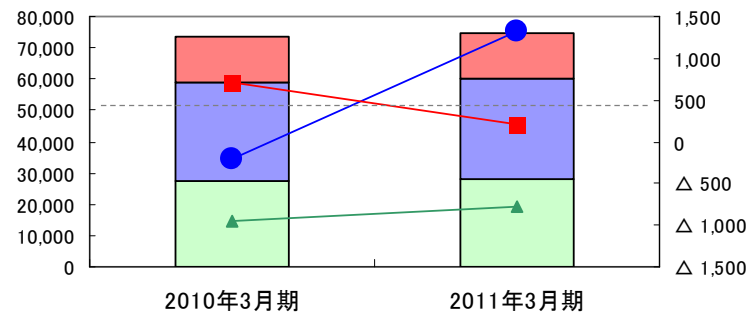
■ 豪州 売上高 ■ 米州 売上高 ■ その他地域 売上高
▲ 豪州 営業利益 ● 米州 営業利益 ■ その他地域 営業利益

(単位:百万円)

10月～12月実績		2010年3月期	2011年3月期
海外計	売上高	35,504	39,165
	営業利益	1,863	734
豪州	売上高	12,009	14,300
	営業利益	△ 964	△ 684
米州	売上高	16,744	17,755
	営業利益	2,414	1,094
その他地域	売上高	7,179	7,603
	営業利益	410	300

【第3四半期累計実績】

(売上高単位:百万円) (営業利益単位:百万円)



■ 豪州 売上高 ■ 米州 売上高 ■ その他地域 売上高
▲ 豪州 営業利益 ● 米州 営業利益 ■ その他地域 営業利益

(単位:百万円)

4月～12月累計実績		2010年3月期	2011年3月期
海外計	売上高	107,672	112,236
	営業利益	1,415	1,451
豪州	売上高	39,660	42,420
	営業利益	△ 1,927	△ 1,453
米州	売上高	48,253	49,796
	営業利益	2,200	2,409
その他地域	売上高	21,606	22,296
	営業利益	1,124	501

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません。)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他海外は、アジア、欧州となっております。

【第3四半期の状況】

- ・売上高は、各地域ともに前年を上回り、海外トータルでは、対前年同期比約10.3%の増収。
- ・営業利益は、米州における豚生体相場の下落等により、対前年同期差約11億円の減益。

【第3四半期累計の状況】

- ・売上高は、各地域ともに、上期の増収に加え第3四半期も順調に売上を伸ばしたため、約4.2%の増収。
- ・営業利益は、上期堅調であった米国豚生体相場が下期に入って下落したこともあり、ほぼ前年並みとなった。

2011年3月期 第4四半期以降の見通し

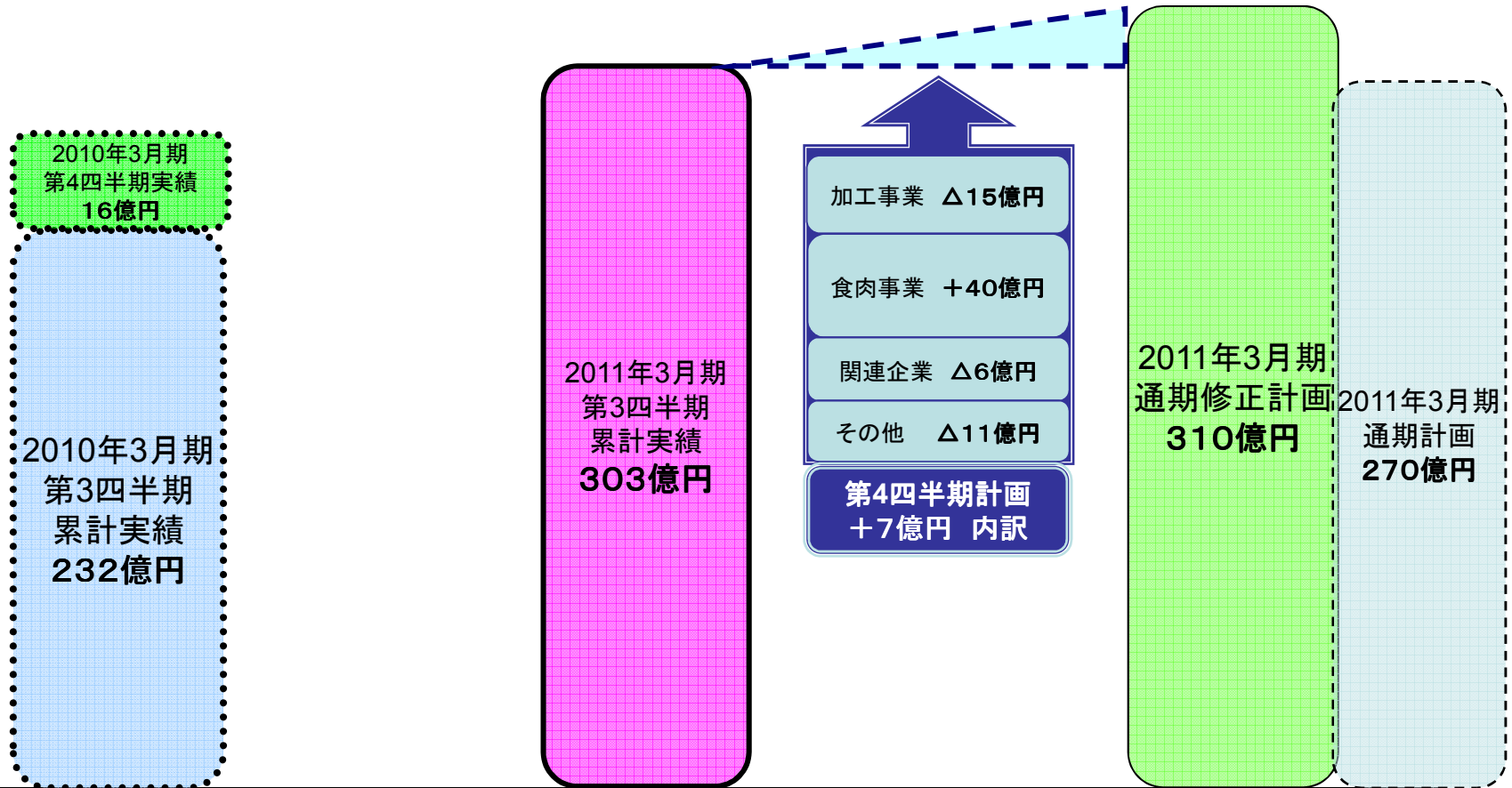
1.2011年3月期 第4四半期事業セグメント別営業利益計画イメージ

2.加工事業本部の見通し

3.食肉事業本部の見通し

4.関連企業本部の見通し

通期営業利益計画 要因分析



2010年3月期実績

2011年3月期第3四半期実績

2011年3月期通期修正計画

	第3四半期 累計実績	第4四半期 実績・計画	通期 実績・計画
2010年3月期実績	232億円	16億円	249億円
2011年3月期実績	303億円	7億円	310億円
対前年差	+70億円	Δ9億円	+61億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

【加工事業本部 売上の状況と今後の売上拡大施策】

●歳暮ギフトの結果

【ギフト販売個数 10年3月期実績と11年3月期実績・目標】

(単位:千個・%)

	2010年3月期実績	2011年3月期実績	前年比
中元ギフト販売個数	1,926	1,956	102%
歳暮ギフト販売個数	4,813	4,905	102%
合計	6,739	6,861	102%

- ・歳暮ギフトは、個数ベースで前年比102%となった。
- ・旗艦ブランド「美ノ国」は個数ベースで前年比171%の伸長。ギフト全体の構成比では9.4%となり、単価も上昇。

・主要ブランド・新商品の状況

【(参考)2011年3月期第3四半期累計 主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	98%	中華名菜群	104%
森の薫りウインナー	97%	石窯工房群	102%
ロースハム群	95%	プリフライ群	103%
ベーコン群	97%	ハンバーグ・ミートボール群	95%

●売上の状況と今後の売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・上期に引き続き、単味品を最重点商品として、新商品の「彩りキッチン」を中心に、展開店舗と売り場の拡大を推進。
- ・「森の薫り」や、今年で発売45周年を迎える「ウイニー」のキャンペーンを展開し、売り場の活性化を推進。

②加工食品

- ・「羽根つき餃子」、「ミートパイ」等の新商品を投入し 新市場を開拓。
- ・上期に引き続き、業務用商品を拡販。

●チャネル別の売上状況

【(参考)2011年3月期第3四半期累計 チャネル別売上金額伸び率】

	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	97%	102%	99%
デリ商品	103%	113%	108%

●売上拡大施策

- ・コンシューマは、主カブランドの拡販と、新商品の定着を推進。
- ・業務用は、下期も引き続き、「ウインナー」、「ハンバーグ」、「から揚げ」等で新チャネル開拓を推進。

●海外事業の現状

◆豪州事業の現状

⇒世界的な牛肉需要の減退と、豪州国内での牛生体相場の上昇により、厳しい状況が継続。

◆米州事業の現状

⇒上期に上昇した豚価も、秋口に下落したものの、前年を上回った。

●海外事業の見通し

◆豪州事業の見通し

⇒洪水の直接被害は免れたが、道路冠水等インフラへの影響と、豪州国内の農作物被害による今後の飼料価格上昇が懸念される。

◆米州事業の見通し

⇒来期より、コーン相場の高騰に伴う飼料コストの上昇が見込まれ、厳しい環境が継続する見込み。

●国内生産事業の現状

◆飼料価格の現状

⇒穀物相場の上昇があったものの、円高の効果もあり、2010年は安定的に推移。

◆国内ファーム事業の現状

⇒鶏肉相場は、年末の需要期に向けて相場が上昇し、収益も回復。
養豚事業については、生産性の改善効果もあり、堅調に推移。

●国内生産事業の見通し

◆飼料価格の見通し

⇒穀物相場の影響で第4四半期より、飼料価格が小幅上昇。来期以降も上昇する見込み。

◆国内ファーム事業の見通し

⇒養鶏事業は、現在のインフルエンザの影響は限定的だが、先行きは不透明な状況。
養豚事業は、飼料価格の上昇を、引き続き生産コストの削減等により吸収し、利益確保を図る。

●販売会社の現状

⇒量販店チャネルを中心に、積極的な拡販を行い、販売数量を拡大。

⇒デフレ環境下における販売価格の下落は、想定範囲内で推移。昨年12月度の販売価格は、前年同月を上回った。

●販売会社の見通し

⇒引き続き、量販店および外食チャネルを中心に販売数量を拡大し、シェアアップと利益確保を目指す。

⇒国産牛肉の販売倍増に向けた体制作りや、提案営業によるブランド食肉の販売強化に取り組む。

●水産事業の現状

- ・量販店チャンネルは、順調に売上数量・金額ともに伸長。
- ・外食チャンネルは、価格競争の激化により、売上金額は減少。

【(参考情報)2011年3月期第3四半期累計 マリンフーズ(株)チャンネル別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
量販店チャンネル	107%	105%
外食チャンネル	94%	91%

●今後の方針

- ・量販店チャンネルでの売上を引き続き拡大。
- ・順調に販売数量が伸びているマリンフーズ三重工場での付加価値の高い「内作品」拡販の更なる強化。

●乳製品事業の現状

- ・チーズは、食品メーカー、製パンチャンネル向けの販売が順調に推移し、前年を上回った。
- ・ヨーグルトは、競争の激化等により、数量、金額ともに前年度を下回った。

【(参考情報)2011年3月期第3四半期累計 商品別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
チーズ	103%	106%
ヨーグルト	98%	97%

●今後の方針

- ・チーズは、引き続き食品メーカー、製パンチャンネルへの販売数量拡大を推進するとともに、コンシューマ向けの販売にも本格的に着手。
- ・ヨーグルトは、コンビニエンスチャンネル向けに、付加価値の高い新商品を投入し、販売数量を拡大。

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、今期は安定的に推移。
- ・ヨーグルト原料については、今期は、国産、輸入品ともに安定。

●今後の見通し

- ・チーズ原料は、2011年も上期は安定的に推移する見込み。
- ・ヨーグルト原料については、国産は安定する見込だが、輸入原料は上昇する見通し。

2011年3月期 第3四半期財務データ

1. 2011年3月期第3四半期連結業績概要
2. 2011年3月期 連結売上区分伸び率

2011年3月期第3四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》

3. 販管費・その他収益・その他費用
4. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費

2011年3月期第3四半期連結業績概要

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期実績および計画					
	上期実績	第3四半期累計実績	通期実績	上期実績	前年比	第3四半期累計実績	前年比	通期計画	前年比
売上高	474,973	742,439	953,616	483,100	1.7	763,296	2.8	985,000	3.3
ハム・ソーセージ	66,636	110,054	137,549	64,654	△ 3.0	107,845	△ 2.0	136,500	△ 0.8
加工食品	92,655	145,763	188,870	97,438	5.2	150,514	3.3	195,000	3.2
食肉	250,498	383,232	496,100	259,688	3.7	405,697	5.9	527,000	6.2
牛肉	95,202	144,075	181,104	93,422	△ 1.9	148,572	3.1	191,000	5.5
豚肉	92,998	142,101	185,733	97,314	4.6	148,984	4.8	195,000	5.0
鶏肉	50,229	79,651	105,769	56,791	13.1	90,221	13.3	118,000	11.6
その他食肉	12,069	17,405	23,494	12,161	0.8	17,920	3.0	23,000	△ 2.1
水産	39,908	64,838	82,570	38,963	△ 2.4	63,581	△ 1.9	80,500	△ 2.5
乳製品	11,344	16,933	21,985	10,941	△ 3.6	16,708	△ 1.3	22,500	2.3
その他	13,932	21,619	26,542	11,416	△ 18.1	18,951	△ 12.3	23,500	△ 11.5
売上原価	380,453	586,939	754,992	386,773	1.7	603,519	2.8		
売上総利益	94,520	155,500	198,624	96,327	1.9	159,777	2.8		
売上総利益率	19.9%	20.9%	20.8%	19.9%	-	20.9%	-		
販売費及び一般管理費	85,764	132,279	173,769	83,412	△ 2.7	129,512	△ 2.1		
営業利益	8,756	23,221	24,855	12,915	47.5	30,265	30.3	31,000	24.7
税引前利益	8,520	22,602	24,024	11,358	33.3	27,774	22.9	27,500	14.5
当社株主帰属当期純利益	5,405	14,078	15,721	6,782	25.5	16,118	14.5	14,000	△ 10.9

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

2011年3月期第3四半期連結業績概要 《 連結売上区分別伸び率、所在地別セグメント状況 》

【連結売上区分別伸び率】

品 種	2011年3月期 連結第3四半期実績伸び率		2011年3月期 連結第3四半期累計実績伸び率	
	数 量	金 額	数 量	金 額
ハム・ソーセージ	99.9%	99.5%	100.7%	98.0%
加工食品	102.7%	99.9%	108.1%	103.3%
食肉	105.7%	110.0%	104.1%	105.9%
牛肉	120.5%	112.8%	105.8%	103.1%
豚肉	98.7%	105.2%	100.3%	104.8%
鶏肉	103.9%	113.6%	108.2%	113.3%
その他食肉	100.8%	107.9%	99.6%	103.0%

【所在地別セグメント状況】

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期実績および計画					
	上期 実績	第3四半期 累計実績	通期 実績	上期 実績	前年比	第3四半期 累計実績	前年比	通期 計画	前年比
《所在地別セグメント情報》									
国内売上高	442,465	694,959	893,363	448,901	1.5	711,302	2.4	917,500	2.7
外部顧客売上高	442,215	694,585	892,872	448,638	1.5	710,928	2.4	917,000	2.7
セグメント間内部売	250	374	491	263	5.2	374	0.0	500	1.8
国内営業利益	9,487	22,289	23,123	11,840	24.8	28,396	27.4	28,500	23.3
国内売上高営業利益率	2.1%	3.2%	2.6%	2.6%	-	4.0%	-	3.2%	-
海外売上高	72,168	107,672	138,660	73,071	1.3	112,236	4.2	146,500	5.7
外部顧客売上高	32,758	47,854	60,744	34,462	5.2	52,368	9.4	68,000	11.9
セグメント間内部売	39,410	59,818	77,916	38,609	△ 2.0	59,868	0.1	78,500	0.7
海外営業利益	△ 448	1,415	2,102	717	-	1,451	2.5	2,200	4.7
海外売上高営業利益率	-	1.3%	1.5%	1.0%	-	1.3%	-	1.5%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。 - 18 -

連結業績概要 《 販管費・その他収益・その他費用 》

(単位:百万円、%)

《販管費》	2010年3月期	2011年3月期	対前年増減率	対前年増減額
	第3四半期 累計実績			
★① 販売費及び一般管理費	132,279	129,512	△ 2.1	△ 2,767
人件費	51,690	50,275	△ 2.7	△ 1,415
★② 広告宣伝費	10,794	9,211	△ 14.7	△ 1,583
★③ 物流費	27,850	29,070	4.4	1,220
その他	41,945	40,956	△ 2.4	△ 989

主な増減要因

- ★①販管費計 : 前年同期差約28億円減少。売上高販管費率は、17.8%から17.0%と、0.8ポイント減少。
 ★②広告宣伝費 : TVCMも含めた販促活動の効率化により、前年同期差約16億円減少。
 ★③物流費 : 販売数量の増加等により、運賃が前年同期差約12億円増加。

(単位:百万円、%)

《連結その他収益・その他費用》	2010年3月期	2011年3月期	対前年増減率	対前年増減額
	第3四半期 累計実績			
その他収益合計	4,075	811	△ 80.1	△ 3,264
受取利益・配当金	460	443	△ 3.7	△ 17
為替差益	3,573	-	-	△ 3,573
その他	42	368	776.2	326

支払利息	1,606	1,612	0.4	6
その他費用合計	3,088	1,690	△ 45.3	△ 1,398
有価証券売却損・評価損	2,210	631	△ 71.4	△ 1,579
固定資産減損	599	559	△ 6.7	△ 40
★① 為替差損	-	399	-	399
その他	279	101	△ 63.8	△ 178

主な増減要因

- ★①その他費用 : 為替差損は主として海外子会社の円建て借入金換算差損。

連結業績概要 《 貸借対照表、設備投資額・減価償却費 》

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》	2010年3月期 期末実績	2011年3月期 第3四半期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	604,201	627,313	3.8	23,112
現金及び現金同等物	43,518	35,606	△ 18.2	△ 7,912
★① 売上債権	100,366	154,053	53.5	53,687
★② 棚卸資産	100,545	107,009	6.4	6,464
投資及びその他の資産	29,950	28,368	△ 5.3	△ 1,582
有形固定資産	227,081	220,903	△ 2.7	△ 6,178
長期繰延税金資産	15,617	15,191	△ 2.7	△ 426
負債合計	330,239	343,916	4.1	13,677
支払手形及び買掛金	84,124	111,393	32.4	27,269
★③ 有利子負債	187,585	177,953	△ 5.1	△ 9,632
退職金及び年金債務	16,128	15,594	△ 3.3	△ 534
当社株主資本	271,908	281,339	3.5	9,431
非支配持分	2,054	2,058	0.2	4
資本合計	273,962	283,397	3.4	9,435

主な増減要因

- ★①売上債権 : 季節変動要因により、前期末比約537億円増加。前年同期差では、売上金額の増加に伴い、約34億円増加。
- ★②棚卸資産 : 季節変動要因により、前期末比約64億円増加。対前年同期差では、約41億円増加。
- ★③有利子負債 : 長期借入金の約定返済等により、約96億円減少。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2010年3月期 第3四半期 累計実績	2011年3月期 第3四半期 累計実績	2011年3月期		2011年3月期 通期計画
			対前年増減率	対前年増減額	
設備投資額	14,695	12,266	△ 16.5	△ 2,429	25,900
生産設備	7,260	5,848	△ 19.4	△ 1,412	10,200
販売・物流設備	1,729	1,370	△ 20.8	△ 359	5,000
ファーム・処理設備	2,493	2,519	1.0	26	5,000
海外事業設備	564	1,428	153.2	864	3,100
その他設備	2,649	1,101	△ 58.4	△ 1,548	2,600
減価償却費	17,976	17,877	△ 0.6	△ 99	24,500

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話:03-6748-8024
FAX:03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。